

# 展望及び重点課題

「Do The Best! 3ヵ年経営計画」の初年度となる2023年度は、アフターコロナ政策により、経済に少し明るい兆しが見えてきている中、未だ資源価格上昇等による経済・家計への影響が懸念されることを踏まえ、お客さまのニーズを的確に把握し、その課題を解決できるよう、お客さまに寄り添ったきめ細やかな伴走支援を行い、金融仲介機能の発揮に取り組んでまいります。

## 3ヵ年経営計画（2023～2025年度）

# 『Do The Best! 3ヵ年経営計画』

～断トツ!! に信頼される地域の伴走支援者「がましん」の確立～

### 基本目標

常に最善を尽くし、聖域なき業務プロセス改革を始めとした効率化と営業力強化による持続可能な収益構造の構築を図り、経営基盤を強固にすることで、地域から断トツ!! に信頼される地域の伴走支援者「がましん」を確立する。

### スローガン

- 1年目（2023年度） 『創立75周年の感謝と想いを取引先支援と地域貢献に繋げる』
- 2年目（2024年度） 『デジタル推進による業務プロセス改革と持続可能な収益構造の構築』
- 3年目（2025年度） 『断トツ!! に信頼される地域の伴走支援者『がましん』の確立』

### 計画概要

#### 基本方針

地域社会と産業の発展をはかり  
会員得意先の繁栄につとめ  
従業員とその家庭を明るくする

#### 外部環境

- 1. 日銀のイールドカーブ・コントロールの修正
- 2. 人口・事業所数の減少による東三河マーケットの縮小
- 3. 中小企業における事業承継・人材確保支援ニーズの高まり
- 4. 金融チャネルの多様化(DXの進展)
- 5. 資産運用ニーズの高まり
- 6. マネー・ローンダリング、サイバー攻撃対策の重要性の高まり
- 7. アフターコロナ対応の必要性
- 8. 「持続可能な社会」の実現(SDGs、ESG、地方創生)

#### 内部環境

- 1. 営業力再構築の必要性
- 2. 貸出金利息収入の減少
- 3. 高利回債券の満期償還と運用環境の悪化
- 4. 適切なリスクコントロールの必要性
- 5. デジタル活用による経営効率化の必要性
- 6. 地域貢献に寄与できる人財育成の必要性
- 7. 全役職員のデジタルリテラシーの向上
- 8. 職員エンゲージメントの向上

## 『Do The Best! 3ヵ年経営計画』

断トツ!! に信頼される  
地域の伴走支援者「がましん」の確立

持続可能な収益構造の構築

伴走支援による地域活性化

リスク管理態勢強化による堅固な経営基盤の構築